

実務

1. トランシーバーは実行委員長・区長代表・青年団長の3台と車輛誘導用2台の運用で良い（未使用が多かった）
2. 役場写真撮影場所の確保（他府県の車輛駐車があった）
3. 運行予定表は共通1部とする（時間間違いがあった）
4. 警備担当者のみ別個の打ち合わせ（現地）が必要。来年度は警察官の応援人数も減少する見込みで、自主警備の確立が重要。
（時間・体制・方法等不十分な面もあった）

事案

5. 喧嘩口論・駅の洗面所損壊・駅への車輛進入トラブルがあった。
いずれも事案解決はしているが、課題は残った。
喧嘩口論にあっては、双方の誤解や個人的感情もありトラブルとなったが、関係者により相互理解を促すことが重要と考える。
駅の洗面所損壊については、泥酔者は責任者が対応し保護するよう努めてもらう。
また被害者（駅側）との対応に関しては、第3者を入れない（状況把握していない複数の人が文句や暴言を吐く場面が見られた）責任者を限定し被害者（駅側）との対応に当たることとする。さらに駅出入口をふさいだり、ねっ転がっている状況にあったため排除したが今後、取り決めだけでなく駅出入口の警備が必要と考える。
駅への車輛進入にあっては、実行委員会でどのような車輛も進入を禁止する取り決めであったため警察官が止めトラブルになったが、その時一部から「この車は特別許可されている」との申し出があったらしい。その時点で責任者を呼んでくれればルール説明が出来たのだが、警察官と一部運行者の間でトラブルに発展したという経緯である。トラブルの際の責任者を限定し、対応する。
まわりも責任者は誰であるかを明確にする必要がある。

証言

6. 壺阪山駅助役；祭りのことだし、ある程度は容認している。トイレの使用もして頂いて結構です。ただ駅構内や出入口での徘徊や出入口をふさぐような行為は乗客に迷惑がかかるので、その点は十分配慮願いたい。

壺坂タクシー；駅前におけるだんじりのパフォーマンスについて、だんじりをまわすのは良いが上下にシーソーすると、会社が揺れ、倒壊しないか心配になる。ほどほどにしてほしい。

実行委員会 7. 実行委員会は本年度最初の取り組みで無理もないが、委員同士の連携不足、誰が責任者であるかの自覚やまわりへの浸透も薄い。また実行委員は全体把握が必要で、自治会・青年団・子ども会等との連携をとり、祭りの準備段階からかわりを持つ必要がある。そして各大字の実行委員間での連携も強化する（4月の大字役員改選後、新旧の引継ぎをし、速やかに実行委員会を開催し定期的な会合を持ち、1年かけてだんじり祭りの成功を話し合う。）

展望 8. 吉本の芸人対応にあっては、森岡氏と直接話し合いをもち、正式に運行計画に組み込む

9. 11月23日に開催される「たかとり城祭り」へのだんじり参加